

分野		分野の柱		施策の方向性	
環境	持続可能な都市を構築するスマート札幌の推進	1. 環境首都・札幌の実現に向けた次世代エネルギーシステムの推進	脱原発依存及び低炭素社会を実現するために、次世代エネルギーシステムなどの研究・開発・普及により、家庭や業務部門などの省エネ・創エネを推進すると共に、エネルギー効率が良く、災害に強い都市を構築する自立分散型のエネルギーネットワークを強化する。さらに、系統ネットワークと分散型電源の安定した共存・連系に向けた検討を進める。	① 自立分散型エネルギーネットワークの展開	災害に対する安全性を高めると共に、環境への負荷低減を促進するため、特に都市の中枢機能が集中し、エネルギー消費の大きい都心部において、電力と熱を効率的に供給するシステムが計画的に配置された自立分散型エネルギーネットワークを展開すると共に、個別の建物の更新などの際に、エネルギーネットワークへの接続やエネルギーセンターの導入を促進する手法などの検討を進める。また、熱供給に関する既存のインフラが整備されている地域における市街地更新の際には、既存インフラの効果的な活用を図る。
				② 次世代エネルギーシステムの開発・利用の促進	次世代エネルギーを活用した電力や熱などの利用・供給に関する先進的な技術に加え、札幌版次世代住宅をはじめとする高断熱・高気密住宅や次世代自動車などの研究・開発・普及を産学官が連携しながら積極的に推進することにより、効率的なエネルギー利用の促進を図る。また、道内最大のエネルギー消費地である札幌として、市外も含めた広域的な再生可能エネルギーの普及を促進する。そして、これらの取り組みを産業の振興につなげていく。
				③ 市民・企業による環境負荷低減の取組みの推進	市民・企業の環境意識の向上を図ることで、環境にやさしいライフスタイルへの転換や環境負荷を低減する行動を促進する。また、これを次世代エネルギーを組み合わせた寒冷地にふさわしいエネルギーの効率的な利用を実現するエネルギーベストミックスの研究・開発・普及の促進などにつなげることにより、社会全体でのエネルギー消費量の低減を促進する。
				④ 循環型社会の構築	廃棄物の少ない資源循環型都市の構築を進めるため、廃棄物などの再資源化や燃料への転換、高効率なごみ処理エネルギーの利用などを行う技術の開発・利用を促進する。また、市民や事業者の環境意識の向上を図り、ごみの減量や資源化、リサイクルなどを推進する。
	2. 環境負荷の少ない都市構造の形成	人や自家用車などの移動によるエネルギー消費を抑えたコンパクトな市街地の形成や、みどり豊かな空間の創出などにより環境負荷の少ない都市構造を形成する。	① エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり	公共交通を軸とした交通体系を確立すると共に、交通基盤の体系と対応した土地利用の誘導により、人や自家用車などの移動によるエネルギー消費を抑えたコンパクトなまちづくりを推進する。	
			② 環境にやさしいエコモビリティの強化	地下鉄や路線バスなどの利用促進を図ると共に、都心及びその周辺部における路面電車の積極的な活用や歩行空間ネットワークの充実、自転車利用環境の向上などにより、環境にやさしいエコモビリティの強化を進める。また、自家用車に過度に依存しない生活圏を構成するために、路線バスの利便性の向上に加え、これを補完する地域の特性に応じた持続可能な公共交通体系の検討などを進める。	
			③ 自然と共生する都市づくりの推進	自然に包まれた都市環境と美しい景観を育て、人々の多様な活動や交流を生み出す場を創出し、既成市街地におけるみどりの創出と連係を計画的に推進すると共に、市街地の外については、自然環境や生物多様性の保全を前提としつつ、エネルギー創出の場としての活用など、市街地の外にふさわしい土地利用のあり方の検討を進める。	
			④ 循環型社会の構築	廃棄物の少ない資源循環型都市の構築を進めるため、廃棄物などの再資源化や燃料への転換、高効率なごみ処理エネルギーの利用などを行う技術の開発・利用を促進する。また、市民や事業者の環境意識の向上を図り、ごみの減量や資源化、リサイクルなどを推進する。	

※ロードマップの記載例

